

日時：平成26年6月17日(火)13:30～

場所：十勝総合振興局 地下会議室

大雪山国立公園 東大雪地域
登山道関係者による情報交換会

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 情報交換
 - ・各団体からの報告（昨年度及び本年度実施内容）
 - ・意見交換
 - ・管理水準検討の進捗報告
4. その他
5. 閉会

平成26年6月17日
大雪山国立公園 東大雪地域 登山道関係者による情報交換会

所属
山のトイレを考える会
十勝山岳連盟
新得山岳会
合同会社 北海道山岳整備
NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
然別湖ネイチャーセンター
北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室
新得町 産業課観光係
北海道十勝総合振興局 保健環境部環境生活課 自然環境係
十勝西部森林管理署東大雪支署 総務グループ
株式会社ニュージェック 地球環境グループ
北海道地方環境事務所
東川自然保護官事務所
上士幌自然保護官事務所

大雪山国立公園東大雪地域 登山道関係者による情報交換会
H26年度 登山道作業(活動)予定箇所

資料1

所属	作業予定場所	作業予定日・内容
十勝西部森林管理署東大雪支署		
十勝総合振興局	①トムラウシ山短縮登山口、ニペソツ山・石狩岳登山口 ②トムラウシ山南沼・ニペソツ山 ③トムラウシ山短縮登山口	①6月28日 高山植物保護対策事業 ②6月下旬～10月上旬・携帯トイレブースの設置 ③6月下旬～10月上旬・バイオトイレの設置
新得町	トムラウシ山	・7月10日 新道泥濘箇所修繕のための荷揚げ登山(新得地区登山道等維持管理連絡協議会で実施) ・7月～8月 ササ刈り(温泉口～短縮口分岐、短縮口～カムイ天上、短縮口登山口)
上士幌町	ニペソツ山・石狩岳・西クマネシリ岳・ウペペサンケ山登山道	6月1日～10月31日 ・ニペソツ山・石狩岳登山口のトイレ管理 ・ニペソツ山・石狩岳・西クマネシリ岳・ウペペサンケ山登山道管理 ・ニペソツ山登山道荒廃部分(天狗のコル付近)の近自然工法による修繕
鹿追町	白雲山、天望山、東雲湖、駒止湖、西ヌブカウシヌプリ、東ヌブカウシヌプリ、南ペトウトル山登山道	5月下旬～6月上旬 登山道整備(然別自然休養林保護管理協議会として実施)
士幌町	白雲山(士幌町側)登山道	6月25日ササ刈り
新得山岳会	トムラウシ山、十勝岳(新得コース)登山道	7月～8月 登山道の清掃、目印点検・補修
しほろ自然環境に親しむ会	白雲山(士幌町側)登山道	6月25日ササ刈り
ボレアルフォレスト		然別自然休養林保護管理協議会構成員として実施
然別湖ネイチャーセンター		然別自然休養林保護管理協議会構成員として実施
NPOひがし大雪自然ガイドセンター		上士幌町等業務の受託
北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室		
日本山岳会北海道支部		
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料6	ロープ張り、避難小屋の清掃等
大雪山国立公園研究者ネットワーク		
北海道大学大学院	別紙の通り ※資料8,9	
十勝山岳連盟	トムラウシ山	・6月中旬 トムラウシ山遭難防止対策(ピンクテープ、雪渓への赤石灰まき)の補助
山のトイレを考える会	大雪山の登山口やビジターセンター等	・美瑛富士避難小屋周辺のトイレ跡調査、清掃 ・9月7日 全道一斉山のトイレデー(啓発および清掃) ・「山のトイレマップ」「山のマナー袋」の提供
北海道山岳整備	未定	6月下旬～10月上旬まで ・近自然工法による登山道整備 ・近自然工法の記録と啓蒙活動
北海道地方環境事務所	別紙の通り ※資料2	

北海道地方環境事務所 平成 26 年度大雪山国立公園関連事業

北海道地方環境事務所

① グリーンワーカー事業

- ・ 清掃活動事業（上川、東川、上士幌各管内）
層雲峡、勇駒別、糠平、十勝三股の集団施設地区、利用拠点の美化清掃事業
- ・ 高山蝶重点パトロール
残雪期の山中泊を含む高山蝶パトロール事業
- ・ 登山道維持業務（東川、上士幌各管内）
美瑛富士登山道における協働型作業の支援、姿見～当麻乗越・間宮岳分岐～中岳分岐・原始ヶ原（滝コース）・ユニ石狩岳登山道（十勝側）の補修事業やササ刈り・倒木処理事業
- ・ 登山道利用状況調査（上川、東川、上士幌各管内）
登山者カウンター設置による入山利用者の把握事業
- ・ 高原温泉自動車利用適正化対策業務（上川管内）
マイカー規制の適正化のための利用実態調査事業
- ・ スノーモビル対策事業（上川、東川、上士幌各管内）
大雪山系全体の飛行監視、乗り入れ頻度の高い箇所での地上パトロール

② 自然ふれあい事業

- ・ パークボランティア活動事業：パークボランティア運営協議会での報告による
- ・ 80 周年記念事業：大雪山国立公園連絡協議会事業計画による
- ・ 外国人来訪者受入れ事業
 1. ビジターセンターへの外国語対応スタッフの配置（上川、上士幌各管内）
層雲峡ビジターセンター、ひがし大雪自然館に外国語対応スタッフを配置し、案内業務、館内展示解説、利用者意向の聞き取りなどを行う。
 2. 外国人利用者受入環境整備方策検討調査（上川管内）
層雲峡集団施設地区を対象として、外国人に提供可能なサービスの把握と、外国人来訪者の意向確認を行い、サービスのマッチングを図るための調査を実施する。
- ・ 国立公園を核とした情報発信モデル事業（上川管内）
高原温泉地区、層雲峡地区等における自然景観資源、人的・社会的自然に関する調査及びエコツアーのモデルコースの設定
- ・ こどもパークレンジャー
 1. 上士幌管内
しかおいジオパークと連携した持続可能な自然・歴史観察会の実施
 2. 上川管内

上記国立公園を角とした情報発信モデル事業と連携した小中学生向け企画の実施

③野生生物の保護管理事業

- ・ 外来種対策事業（上川、東川、上士幌各管内）
セイヨウオオマルハナバチ防除事業（パークボランティア活動と連携）
然別湖ウチダザリガニ防除事業
- ・ 国指定鳥獣保護区管理（上川、東川各管内）
高原温泉ヒグマ情報センター、白金野鳥の森休憩舎等の管理
高原温泉地区を中心とした表大雪のヒグマ保護管理方針の検討

④主な施設整備・維持管理事業

【山岳部】

- ・ 登山道管理水準・技術指針の再検討（上川、東川、上士幌各管内）
登山道の管理レベルの見直し、管理レベルに応じた補修方法、管理方法を定めた技術指針の再検討（参考別紙）
→平成 25 年度に 2 回の検討会、2 回の作業部会を実施し、登山道管理水準の素案を作成
→山岳関係者による情報交換会を通じて、各登山道の管理に関わる関係者との意見交換を進めるとともに、指導標・ガイドブックへ反映させ一般登山者への普及に努める。
- ・ 中岳温泉～中岳分岐、沼ノ原の登山道整備
- ・ 沼ノ平～姿見の池、トムラウシ登山道の巡視及び修繕

【山麓部】

- ・ 層雲峡集団施設地区整備方針検討（上川管内）
- ・ 層雲峡ビジターセンター多言語情報提供システム導入（上川管内）
- ・ 勇駒別博物展示施設基本設計（東川管内）
- ・ 既存施設活用等設計業務：十勝三股（上士幌管内）

平成 25 年 10 月 10 日



(1) 登山口から 15 分程度、洗掘により斜面がむき出しになった箇所、倒木や浮き石を用いたステップ工と、その上部において水の流れ道を作る導流水制工



木の幹を用いた導流水制工完了



滑り防止の切込み

(2) 登山口から丸太橋を渡ってすぐ、洗掘により樹根や斜面がむき出しになった箇所ステップ工



支える樹根に丸太打付け



必要段数の確認



材の選定



配置確認



集合写真

入林簿に「登山道の整備
ありがとう」と記載され
ていました！

登山道補修ノート 井型 C

路線/地点: トムラウシ山線 区間: カムイ天上分岐～コマドリ沢分岐

補修目的: 登山道の泥濘対策及び流水コントロール並びに浸食・泥濘防止の為資材を井型に組みステップを設置する。

管理水準ランク A2



< 荒廃タイプ >

- ヤブ化・倒木
- 根系裸出
- めかるみ化
- 水路化
- ガリー化
- 複線・拡幅化
- トラバース箇所
- 稜線浸食箇所
- 木道等必要箇所
- 拡大防止箇所
- ()

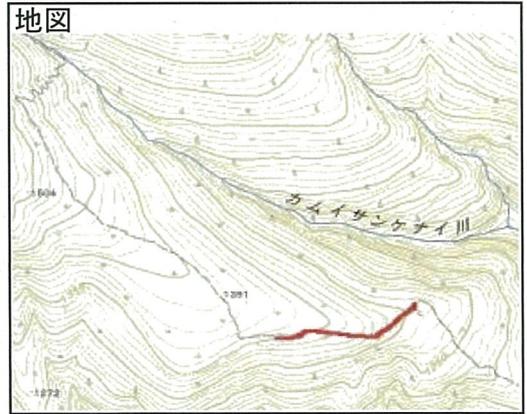
< 作業内容 >

- 刈り払い
- 倒木処理
- 間詰め処理
- 分散処理
- 流水処理
- 土留め
- 路面処理
- ステップ設置
- 植生復元

< 使用材料 >

- 自然石(周辺)
- 自然石(搬入)
- 倒木等(周辺)
- 丸太(搬入)
- 角材(搬入)
- ()

作業メモ(期待される効果など)
くぼ地となり雨水等が排水されず泥濘化している箇所に資材を組んでステップを設置。路面の乾燥を促進し泥濘化を防止し登山道からはずれて歩く事による登山道の拡幅化も防止する。



作業日: 7月9日～10月21日 作業者・記録者: 小西 則幸

登山道補修ノート 溝切り A

路線/地点:

トムラウシ山線

区間:

カムイ天上分岐～コマドリ沢分岐

補修目的: 登山道の泥濘対策及び流水コントロール並びに浸食・泥濘防止の為、溝切りし流水処理をする。

管理水準ランク
A2

補修前



< 荒廃タイプ >

- ヤブ化・倒木
- 根系裸出
- めかるみ化
- 水路化
- ガリー化
- 複線・拡幅化
- トラバース箇所
- 稜線浸食箇所
- 木道等必要箇所
- 拡大防止箇所
- ()

< 作業内容 >

- 刈り払い
- 倒木処理
- 間詰め処理
- 分散処理
- 流水処理
- 土留め
- 路面処理
- ステップ設置
- 植生復元

< 使用材料 >

- 自然石(周辺)
- 自然石(搬入)
- 倒木等(周辺)
- 丸太(搬入)
- 角材(搬入)
- ()

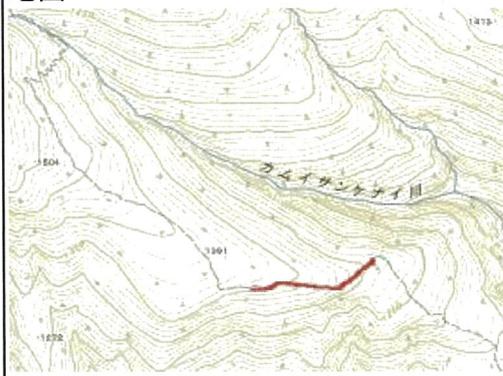
補修後



作業メモ(期待される効果など)

登山道を走る雨水等が登山道を洗堀したり、既に洗堀し流水が排水されない地形ですり鉢状となり泥濘化が進む箇所に資材で土留めをし溝を掘り登山道外に流水処理をする。施工する事により泥濘化を解決し洗堀も防止する。

地図



作業日:

7月9日～10月21日

作業者・記録者:

小西 則幸

登山道補修ノート 縦杭 B

路線/地点: トムラウシ山線 区間: カムイ天上分岐～コマドリ沢分岐

補修目的: 登山道の泥濘対策及び流水コントロール並びに浸食・泥濘防止の為、縦杭を入れてステップを設置。	管理水準ランク A2
---	---------------



< 荒廃タイプ >

- ヤブ化・倒木
- 根系裸出
- めかるみ化
- 水路化
- ガリー化
- 複線・拡幅化
- トラバース箇所
- 稜線浸食箇所
- 木道等必要箇所
- 拡大防止箇所
- ()

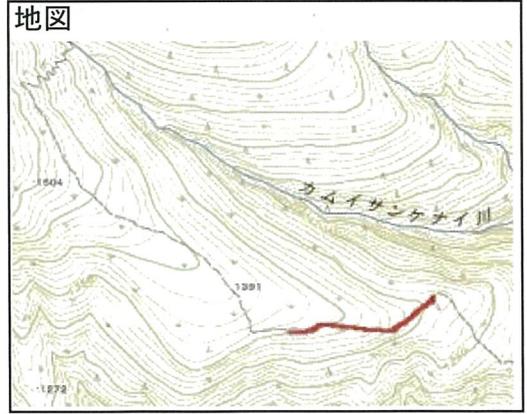
< 作業内容 >

- 刈り払い
- 倒木処理
- 間詰め処理
- 分散処理
- 流水処理
- 土留め
- 路面処理
- ステップ設置
- 植生復元

< 使用材料 >

- 自然石(周辺)
- 自然石(搬入)
- 倒木等(周辺)
- 丸太(搬入)
- 角材(搬入)
- (番線)

作業メモ(期待される効果など)
洗堀が進み、排水も不十分で泥濘化が進み段差や傾斜のある登山道にステップを設置する事により踏み続けによる泥濘化と洗堀するのを防止する。



作業日: 7月9日～10月21日 作業者・記録者: 小西 則幸